



型肝炎



検査を受ける。治療を行う。治癒する。

型肝炎

C型肝炎は、C型肝炎ウイルス(HCV)によって引き起こされ、このウイルスに感染した血液と接触することによって広がる肝臓疾患です。疾患は次の原因で広がる可能性があります。

- 注射針、注射器、加熱調理器、コットン、水、ストローなど、薬物を調製、注射、吸引するための器具を共有すること。
- 刑務所や拘置所などの無許可または私的な環境でのタトゥーやボディピアスを行うこと。
- 歯ブラシ、かみそり、爪切り、血糖値モニターなど、血液と接触する可能性のある身の回り品を共有すること。
- C型肝炎に感染している妊婦による出産時。

C型肝炎患者のほとんどは無症状で、自分がC型肝炎にかかっていることを知りません。C型肝炎は、治療せずに放置すると重篤な肝障害や肝不全、肝がんを起し、死につながる可能性もあります。A型肝炎やB型肝炎とは異なり、C型肝炎は予防するワクチンがありません。しかし、早期に診断し、適切なタイミングでケアと治療を受けることで肝障害を防ぐことができます。C型肝炎は治療および治癒が可能な疾患です。

C型肝炎とHIVへの同時感染

HIVに感染している人の約4分の1はC型肝炎にも罹患しています。HIVとC型肝炎ウイルスの両方に感染している人では、肝疾患の進行がより速くなります。薬物を使用しているHIV感染者の間では、C型肝炎ウイルスとの同時感染が多くみられます(50%~90%)。また男性と性交渉を持つHIV感染者の男性にも、HCV感染の高いリスクがみられます。これは、出血が起きる乱暴な性交や肛門性交が原因である可能性があります。C型肝炎は、HIVに感染している人でもその治療に成功する可能性があります。HIV感染を予防するためにPrEPを服用している人は、C型肝炎への罹患リスクがあるため、毎年C型肝炎の検査を受ける必要があります。

私が経験したことを今経験してる
C型肝炎患者の方のことはよくわ
かります。自分も同じ道を通って
きました。状態は良くなります。
とても良くなります。

Casey, Albany





C型肝炎のスクリーニング検査

C型肝炎に感染しているかどうかを知る唯一の方法は検査を受けることです。

次の場合、C型肝炎の検査を受ける必要があります。

- 18歳以上である（少なくとも1回は検査を受けてください）。
- 妊娠している（妊娠のつど検査を受けてください）。
- 何年前であるかにかかわらず、一度でも薬物を注射したことがある。
- HIVに感染している。
- 1992年以前に輸血または臓器の提供を受けたことがある。
- 1987年以前に血液凝固因子製剤を受けたことがある。
- 業務中に針に刺さったり鋭利な物で負傷し血液に接触したことがある。
- 長期透析を受けていたことがある。
- 路上または刑務所にいるときなどに、無許可のアーティストからタトゥーやボディピアスを入れられたことがある。
- 薬物を鼻から吸引したことがある。

C型肝炎抗体検査

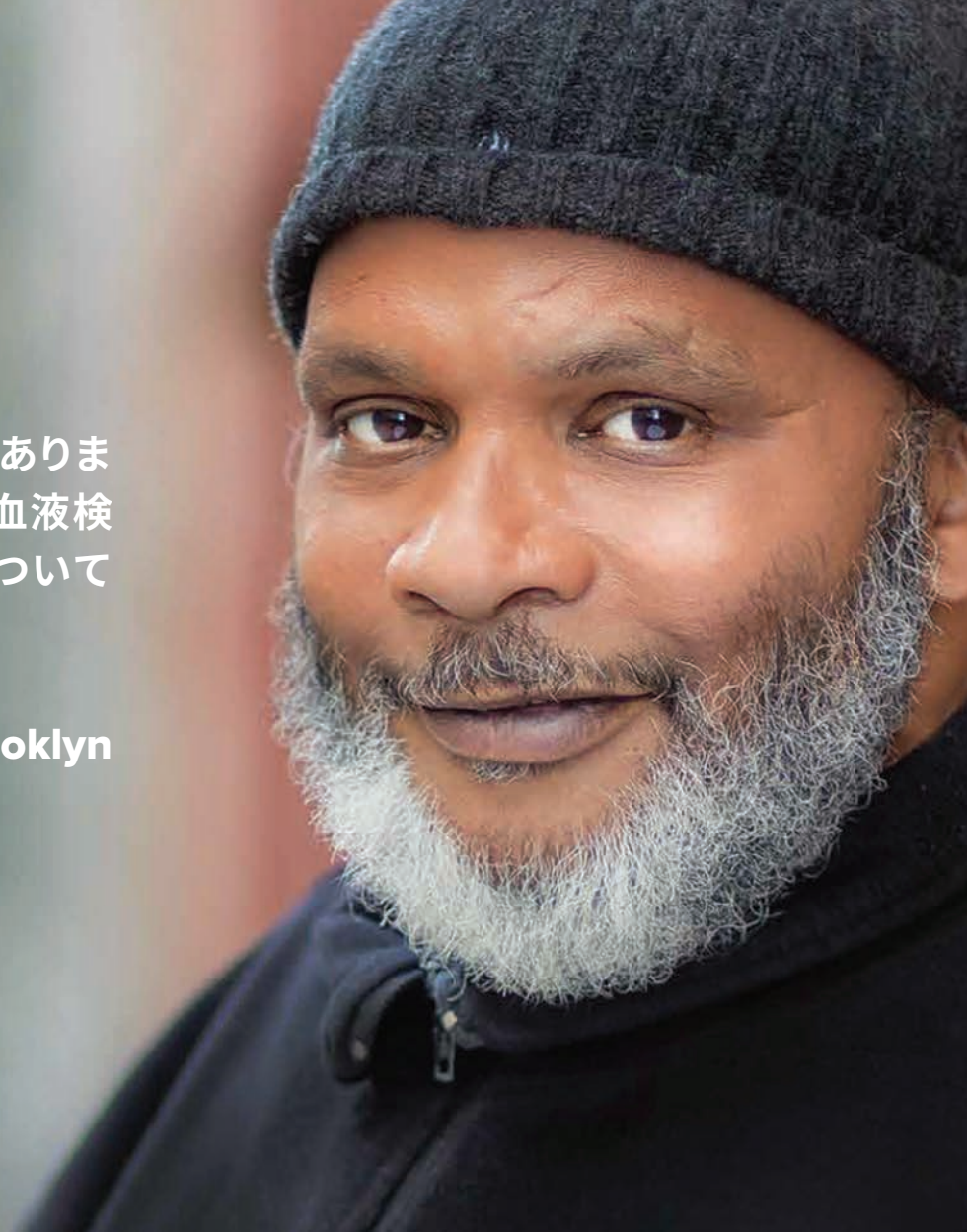
C型肝炎に罹患しているかどうかを判断するために必要な最初の検査が、C型肝炎抗体検査です。これはC型肝炎ウイルスに対する抗体を調べる血液検査です。検査は、血液サンプルを採取して検査機関に送ることによって、またはC型肝炎迅速抗体検査を使用して指を刺すことによって行うことができます。C型肝炎抗体検査では、これまでにC型肝炎に感染したかどうかわかりますが、現在C型肝炎に感染しているかどうかはわかりません。現在感染しているかどうかを確認するために、2回目の検査が必要となります。

C型肝炎抗体検査の結果は、非反応性・陰性または反応性・陽性のいずれかで示されます。

- 抗体検査が**非反応性または陰性**である場合、現在C型肝炎ウイルスに感染していないことを意味します。ただし、過去6か月以内に注射薬器具を共用するなどの危険な行為を行った場合は、再度検査を受ける必要があります。
- 抗体検査が**反応性または陽性**である場合、血液中にC型肝炎に対する抗体があることを意味します。これは一度C型肝炎に感染したことがあるということになります。C型肝炎に罹患している可能性があり、確実に知るために2回目の検査が必要です。

検査は複雑なものではありません。医師から簡易な血液検査を受け、C型肝炎について情報を得てください。

Kenneth, Brooklyn





C型肝炎の診断

C型肝炎抗体検査で反応性があった場合は、現在C型肝炎に感染しているかどうかを診断して判断するために2回目の検査が必要になります。この2回目の検査はHCV-RNA定量検査、またHCVリアルタイムPCR検査とも呼ばれます。RNA定量検査では、血液中のC型肝炎ウイルスの存在または量を確認します。HCV-RNA定量検査の結果は、「検出せず」または「検出」で示されます。場合によっては、結果がウイルス量（血液中のウイルスの量）として報告されることもあります。

- ・「検出せず」という検査結果は、血液中にウイルスがなく、現在感染していないことを意味します。
- ・「検出」という検査結果は、血液中にC型肝炎ウイルスが存在し、現在C型肝炎に感染していることを意味します。この検査結果は、ウイルス量も示されることがあります。

C型肝炎の早期診断による利点


C型肝炎に感染していることがわかったら、治療について医師に相談してください。体調が悪化するまで治療を待つことがないようにしましょう。早期の診断と医療ケアが健康状態の向上の鍵となります。治療を開始する前にも、次のように、健康を維持し肝臓をダメージから守るためにできることが多くあります。

- ・アルコール摂取を控える、または少なくする。
- ・A型肝炎およびB型肝炎の予防接種を必ず受ける。
- ・健康的な食事をし、運動し、十分な休息をとる。
- ・定期的な検査について、かかりつけ医に相談する。
- ・処方薬、市販薬、サプリメント、ビタミン剤などを服用する前に、かかりつけ医に相談する。

C型肝炎を他人に移すリスクを最小限に抑える

- ・薬を注射する場合は、可能な限り安全に行う。
- ・注射器やその他の薬物使用器具（注射器、バンド、コットン、加熱調理器、水、ストローなど）を共有しない。
- ・カミソリ、歯ブラシ、爪切りなど、血液が付着する可能性のあるパーソナルケア用品を共有しない。
- ・コンドームやデンタルダムを使用し、より安全な性行為を行う。血液に触れたり組織の裂傷を伴う性行為は避ける。

C型肝炎は、くしゃみ、咳、ハグ、食器やグラスの共有などの日常の接触では広がりません。



、あなたがどうやってC型肝炎に感染したのかを問題にするわけではありません。ここから皆が根治できるよう、お互いに助け合いましょう。

Ronni, Manhattan

型肝炎のケアと治療

C型肝炎に感染していることがわかったら、過去に治療を拒否されたり、受けた治療に効果がみられなかったことがあったとしても、治療について医療提供者に相談することが重要です。現在市販されている薬でほとんどの人が治ります。大半の人は、かかりつけ医からC型肝炎の治療を受けることができます。

C型肝炎の治療

- 治療によってC型肝炎ウイルスを体から取り除くことができます。これは持続ウイルス反応またはSVRと呼ばれ、治癒とされます。SVRによって肝障害のリスクが軽減し、生活の質が改善されます。
- 治療は、薬物を現在使用している人、HIVに感染している人、進行した肝疾患患者を含め、C型肝炎患者のほとんどに推奨されます。
- C型肝炎の治療は難しいものではなく、多くの場合、1日1回の投薬を8~12週間続けるだけであり、副作用もほとんどありません。
- C型肝炎の治療終了から3か月（または12週間）後に、医療提供者は治療の成功を確認するためにC型肝炎RNA検査を再び行います。
- この検査で血液中にC型肝炎ウイルスが検出されなければ、治癒となります。
- 血液中にC型肝炎ウイルスがまだみられる場合、治癒とはなりません。治癒していない場合は、引き続きケアを続けることが重要です。C型肝炎治療を繰り返すことの利点について、かかりつけの医療提供者に相談してください。他の薬の組み合わせで効果がみられる場合があります。
- 治療が成功したとしても、将来C型肝炎に再び感染しないわけではないことを知っておくことが重要です。

C型肝炎の治療を受けたら治癒しました。本当に信じられませんでした。自分の中で何かが変わり、私は大丈夫だという希望がまた少し与えられました。

Liza, Buffalo



型肝炎・私たちのストーリー



C型肝炎を根絶するためにできる方法はこちらからご覧ください：health.ny.gov/nycureshepc

C型肝炎に関する詳しい情報、注射器交換プログラム、または注射器を処方箋がない場合にも販売している薬局については、1-800-522-5006に電話するか、www.health.ny.govにアクセスしてください。。

薬物使用、アルコール依存症、またはギャンブルの問題に関するサポートが必要な場合は、1-877-8-HOPENY、または1-877-846-7369までご連絡ください。

